

真校魅力だより その8

真室川校の伝統と誇りをつなぐ～真校祭・CM大賞～

◆真校祭（真型フェス the second stage ～最高の笑顔 輝く「真」未来～）

10月30日(土)に伝統行事「真校祭」が開催されました。昨年と同様にコロナ禍で保護者の参加や来賓の方を招待しない制約された中で行われました。今年のテーマは、昨年と同じ「真型フェス」、その深化を目指して「the second stages」へとバージョンアップし、サブテーマの“輝く「真」未来”を作り上げるために、みんなが「最高の笑顔」で盛り上げようという思いを込めました。

クラスステージ発表や縦割り班発表、吹奏楽部の演奏や保健委員会作成のムービー、郷土研究PCC部や選択科目等の展示、クラス企画など盛りだくさんの内容に、生徒たちは自分の役割を果たすとともに一人何役もこなしながら笑顔の絶えない学校祭となりました。

生徒会長の柴田和花さん（2年）から「一人ひとりがみんなのために協力し素晴らしい真校祭になりました。ここで得たものを今後の学校生活に活かしていきましょう。」とあいさつがあり、最後に実行委員長の高橋薫さん（3年）が「真校祭の成功は生徒全員が協力し合った結果です。来年以降もコロナのような困難があっても負けずに伝統をつないでほしい。」と締めくくりました。



音楽選択1年のハンドベル演奏



縦割り班の発表「寸劇(桃太郎風)」



吹奏楽部の演奏

◆ふるさとCM大賞の撮影協力「いつでも どこでも 真室川音頭」

12月8日(水)に放送されたふるさとCM大賞の撮影は9月16日(木)に真室川校で行われました。真室川校生が町の企画課とともにCMの企画や内容の検討の段階から関わり、真室川校生なら全員踊れる真室川音頭、町民なら音頭が流れるとみんな踊りたくなるという気持ちを持っているのではないかと発想から15秒のCMにしたものです。

カメラの前で真室川音頭を踊るという初めての体験でしたが、何度も撮り直しをくり返しながらも楽しい撮影となりました。放送された番組内では、町民の皆さんが踊れるかを検証しに来町し、インタビューを受けた全員が踊りを披露していました。CMに出演した皆川悠希さん（2年）は「貴重な体験ができました。もっと真室川音頭を広めていきたい。」と話してくれました。



撮影風景